



# JNC CORPORATION

公司简介

用化学创造喜悦

持続可能で豊かな暮らしを、思い描くよろこび。  
 地球にやさしい環境を、つくるよろこび。  
 変化し続ける時代のニーズに技術と創造力で、応えるよろこび。  
 私たちは化学で人々のよろこびをつくります。

JNCグループは、「優れた技術で社会の進歩に貢献する先端化学企業」を企業理念に、わが国化学産業界のパイオニアとして1906年に曾木電気株式会社を創業してから現在に至るまで、常に社会の発展に貢献することを目指してまいりました。地球環境と調和したものづくりを行っていくこと、健康で豊かな暮らしを実現するためお客様の課題や社会ニーズを解決していくこと、そして、世界で活躍できる優秀な人材を育て、持続可能な社会を実現していくことが私たちの変わらぬ使命です。

JNC集团秉持“以优良技术为社会进步做贡献的先进化工企业”之企业理念，作为日本化工产业界的领航者，从1906年创立曾木电气株式会社至今，一直致力于为推动社会发展而做出贡献。我们坚持不变的使命是：开展与地球环境相协调的生产活动；努力解决客户问题，迎合社会需求，力创健康富庶的生活；培养活跃于国际舞台的优秀人才，实现社会的可持续发展。

当社を取り巻く外部環境は大きく変化しています。地政学上のリスクは益々大きくなり、世界各国での紛争などの経済への影響は、インフレや資源・素材価格の高騰、サプライチェーンの見直しに留まらず、安全保障上の観点にまで拡大しています。

本公司所处的外部环境正在发生重大变化。地缘政治风险越来越大，世界各国的冲突等对经济的影响不仅限于通货膨胀、资源和材料价格飙升、供应链重置，还扩大至安全保障方面。

しかしながら、複雑さを増し激変していく環境だからこそ、当社が所有する知識、技術、そして人材を総動員して、お客様のニーズと向き合い、しっかりと地に足の着いたビジネスを着実に進めて、皆さまのご期待に応えてまいりますので、皆さまからのさらなるご指導・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

然而，正因为环境纷繁复杂、瞬息万变，本公司将更加充分地利用既有的知识、技术及人才，满足客户需求，脚踏实地地稳步推进业务，不辜负各位的期待，恳请大家进一步给予指导和支

私たちJNCグループは、技術、製品、サービスを通じて、サステナブルな未来の実現に向けて明日につながる、よろこびを提供してまいります。

我们JNC集团将通过技术、产品及服务，提供连通明天的喜悦，从而实现可持续发展的未来。

# よろこびを化学する。

## 用化学创造喜悦！

描绘可持续的富庶的生活时，感受到的幸福  
 创造关爱地球的良好环境时，感受到的幸福  
 凭借技术和创造力回应不断变化的时代需求时，感受到的幸福  
 —我们珍惜当下的幸福，努力促进化学造福人类。



代表取締役社長 社長執行役員

CEO & President

浅野 進

Susumu Asano

# 高性能材料

高性能材料

## 液晶材料 [液晶事業部]

### 液晶

液晶とは結晶の配列秩序と液体の流動性をあわせ持つ物質です。液晶ディスプレイは、液晶と白色光源や RGB カラーフィルターを組み合わせることでカラフルな画面を表示しています。配向膜により配列させた液晶分子に電圧をかける事で液晶分子の配列を変化させ、カメラのシャッターのような機能で光を通す量をコントロールしています。

当社では、お客様に使用していただく液晶材料の高性能化・低コスト化に取り組みつつ、厳密な品質管理のもとで製造した製品を提供しています。また、新規の液晶材料開発を進め、さらなる高品位な表示を可能にする製品の提供に取り組みつつ、調光ガラスやセンシングデバイスなどディスプレイ以外の用途への適応検討も進めています。

### 配向膜

配向膜とは液晶分子を配列させる高分子膜であり、液晶ディスプレイにとって必要不可欠な材料です。

当社の配向膜は液晶分子を液晶ディスプレイの駆動モードに応じて配向や傾き（プレチルト角）を制御することが可能です。

配向方法に関しては、従来のラビング法に加えノンラビング法の材料開発にも取り組んでいます。とくに横電界モード用配向膜においては、ラビング法および光配向法のいずれのプロセスにも対応した材料を有しており、高表示品位と高信頼性を達成します。

### オーバーコート

カラーフィルター用保護膜はカラーフィルターからの不純物の悪影響を防ぐ役割や、カラーフィルターを平坦化させる役割があります。

当社のオーバーコート材料はポリイミドとエポキシの長所を組み合わせた材料であり、高い透明性・高い耐熱性を持つ保護膜を作成することができます。

## 情報材料 [情報材料事業部]

### 有機EL (OLED)

有機EL (Electro-Luminescence) ディ스플레이は、薄型・軽量・高速応答・高コントラストなどの優れた特徴を活かし、テレビやスマートフォンに搭載されて広く流通しており、タブレットやノートPC、VRゴーグルなどのデバイスでの利用も広がっています。JNCは、有機ELディスプレイの高性能化の鍵である青色発光材料技術により、その普及・拡大に貢献してきました。

さらなる市場の需要に応えるため、2020年12月、韓国のSK Materials Co.,Ltdと、合弁会社SK materials JNC Co.,Ltdを設立いたしました。取扱材料種の拡充、生産能力増強、営業ネットワーク強化などの効果により有機EL事業の安定拡大を進めています。

### プリントド・エレクトロニクス

JNCはプリントドエレクトロニクス分野における独自の要求に対応するために、高度にカスタマイズされた光硬化性材料や熱硬化性ポリイミド材料を開発・製造しています。

光硬化性材料は、溶剤フリーの材料であるため環境負荷が小さくかつ厚膜での形成が可能で、硬化速度が速く、適用先の基材へのダメージを最小限にしつつ印刷できることに特徴があります。

熱硬化性ポリイミド材料は高い耐熱性と電気絶縁性を有する事、異種材料で形成された基材への付着性が良好である事に特徴があります。また、フレキシブル印刷、オフセット印刷、グラビア印刷、インプリント印刷、そして環境に優しく高精度でオンデマンドな印刷方法として注目されているインクジェット印刷を含むデジタル塗布など、さまざまな印刷方法に合わせてインク組成を調整することが可能です。

### 有機シリコン製品

有機シリコン製品は3つの製品群からなります。JNCのポリジメチルシロキサン (PDMS) マクロモノマーであるサイラプレーン® 製品は、高純度で分子量分布の狭い反応性PDMS材料であり、グラフト共重合体やブロック共重合体の構成単位として利用することができます。当社の独自のサイラプレーン® は主にコンタクトレンズのシリコンハイドロゲル、機能性コーティング剤及び放熱材等に使用されています。高度精製技術でその品質を需要家から高く信頼されるシランカップリング剤 (サイラエース®) は半導体やデバイス関連部材に使用されています。当社のシラン化合物は樹脂改質剤、電子材料などに適用されています。

有機EL、液晶、有機シリコン、  
プリントド・エレクトロニクスなど、  
JNCの技術力を駆使した製品で、  
社会の進歩に貢献します。

通过提供有机EL、液晶、有机硅、印刷电子等  
运用了JNC技术的产品，  
为社会进步做贡献。

## 液晶材料 [液晶事業部]

### 液晶

液晶是一种兼具晶体排列秩序和液体流动性的物质。液晶显示器将液晶与白色光源及RGB彩色滤光片组合后，显示出五彩斑斓的画面。通过向利用配向膜进行排列的液晶分子施加电压，液晶分子的排列会发生变化，通过像相机快门一样的功能来控制透光度。

本公司在努力让客户使用的液晶材料实现更高性能和更低成本的同时，提供在严格的质量管理下生产的产品。此外，我们不仅在开发新型液晶材料，力求提供能实现更高质量显示的产品，还在研究非显示器用途中的应用，例如调光玻璃、传感设备等。

### 配向膜

配向膜是让液晶分子有序排列的高分子膜，是液晶显示器不可或缺的材料。

本公司的配向膜可以根据液晶显示器的驱动模式控制液晶分子的配向和倾斜度（预倾角）。

配向方法方面，除了传统的摩擦配向法外，我们还致力于非摩擦配向法材料的开发。尤其是用于横向电场模式的配向膜，我们的材料支持摩擦配向法和光配向法中任何一种工艺，能够实现高显示质量和高可靠性。

### OC (Overcoats, 保护层)

彩色滤光片保护膜的作用是防止来自彩色滤光片的杂质的不良影响，以及使彩色滤光片更平整。

本公司的OC材料结合了聚酰亚胺和环氧树脂的优点，可以制成具有高透明度和高耐热性的保护膜。

## 信息材料 [信息材料事業部]

### 有机EL (OLED)

有机EL (Electro-Luminescence) 显示器凭借其轻薄、快速响应、高对比度等优异特性，不仅被搭载在电视机和智能手机上大量流通，在平板电脑、笔记本电脑、VR眼镜等设备中的应用也越来越广泛。蓝色发光材料技术是有机EL显示器实现高性能的关键，JNC利用该项技术为有机EL显示器的普及和推广做出了贡献。

为了进一步满足市场需求，我们于2020年12月与韩国的SK Materials Co.,Ltd成立了合资公司SK materials JNC Co.,Ltd。通过扩充经营的材料种类、提高产能、加强销售网络等，促进着有机EL事业的稳定和扩大。

### 印刷电子

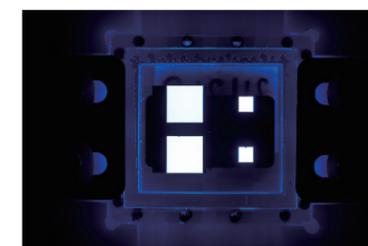
JNC正在开发并制造高度定制的光固化材料和热固性聚酰亚胺材料，以满足印刷电子领域中的独特要求。

光固化材料的特点是其不含溶剂，环境负荷较小，可以形成厚膜，固化速度快，可以在令所应用基材的损坏最小的情况下进行印刷。

热固性聚酰亚胺材料的特点是具有高耐热性和绝缘性，对由不同材料制成的基材有着不错的粘附性。此外，我们还可以根据各种各样的印刷方法调节油墨成分，这些印刷方法有柔版印刷、胶版印刷、凹版印刷、压印、以及包括作为环保而又高精度的按需印刷方法备受瞩目的喷墨印刷在内的数码印刷等。

### 有机硅产品

有机硅产品由3个产品群组成。JNC的聚二甲基硅氧烷 (PDMS) 大分子单体Silaplane™ 产品是一种纯度高、分子量分布窄的反应性PDMS材料，可以用作接枝共聚物和嵌段共聚物的构成元素。本公司独创的Silaplane™ 主要用于隐形眼镜的硅水凝胶、功能性涂料及散热材料等。硅烷偶联剂 (Sila-Ace™) 凭借先进的精制技术而受到客户高度信任，被用于半导体及设备相关材料。本公司的硅烷（化合物）适用于树脂改质剂和电子材料等。



# グリーンエネルギー

绿色能源

# エンジニアリング

工程技术

## 電力 [電力事業部]

### 水力発電

1906年の創業以来、水俣製造所の主要エネルギー源は一貫して自社水力発電所の電力です。当社は、長期的な老朽化対策を施すことで、貴重な財産である水力発電所を、100年以上にわたり大切に維持管理してまいりました。2024年に全発電所のリニューアル工事を完了し、次の100年に向けて安全安定運転を行っています。

### 太陽光発電

当社は、これまでの発電に関する知識と経験を生かし、環境負荷の低減に寄与することが重要だと考えています。当社のコア事業である水力発電以外の発電方式にも取り組んでおり、現在は3カ所の太陽光発電所を保有しています。

## 環境保全 [JNCエンジニアリング株式会社 株式会社アール・ビー・エス]

自然浄化法リアクターシステム®は、土壤中に生息する土壌菌群の働きを活用した污水浄化システムです。

高濃度BOD排水を無希釈で処理し、悪臭を抑制するだけでなく、汚泥を肥料化し、リサイクル資源として活用することができます。

JNCの持つノウハウを活かし、再生可能エネルギーの拡大に向けて、新たな社会を目指します。

環境負荷低減を実現する製品・技術、時代の先を見据えた研究開発により国内外への展開を進めています。

发挥JNC的技术优势，为扩大可再生能源，致力于创建新社会。通过减少环境负荷的产品与技术，以及着眼于未来时代的研究与开发，面向日本国内外发展各项事业。

## 電力 [电力事业部]

### 水力发电

自1906年创业以来，水俣制造所的主要能源一直都来自本公司水力发电站的电力。本公司通过采取长久性防老化措施，在长达百年之余的岁月里，精心维护和管理着我们的贵重财产——水力发电站。2024年，我们将完成所有发电站的翻新改造工程，并努力实现未来100年间的安全稳定运行。

### 太阳能发电

我们认为运用迄今为止积累的有关发电的知识与经验，为减轻环境负荷做贡献是非常重要的。除了本公司核心事业的水力发电之外，我们还在研究其他发电方式，目前已拥有三个太阳能发电站。

## 环境保护 [JNC ENGINEERING Co.,Ltd. RBS Co.,Ltd.]

自然净化法反应器系统是一种利用栖息在土壤中的土壤细菌群的活动来净化污水的系统。

该系统以不稀释高浓度BOD污水的方法进行处理后，不仅能抑制恶臭，还能将污泥变成肥料，这类肥料可作为回收资源进行有效的利用。



# アグリ・ ライフイノベーション

农业・生活创新

私たちの食生活を支える各種肥料や、  
普通の生活に欠かすことのできない  
ライフケミカル製品。

原料である樹脂レベルの研究から  
生まれた繊維製品や樹脂加工品など、  
暮らしのあらゆるシーンで  
JNCの製品は使われています。

既有促进我们饮食生活的各种肥料，也有日常生活中不可或缺的生命化学产品。

对作为原料的树脂进行研究而诞生的纤维产品和树脂加工品等，JNC的这些产品被用于日常生活的方方面面。

## 繊維・不織布製品 [繊維事業部 ES Indorama Ventures 株式会社]

当社は「ES 繊維」として知られるポリオレフィン系熱接着性複合繊維の商業生産に世界で初めて成功したバイオニアです。

現在「ES 繊維」は、インドラベンチャーズとの合併である ES Indorama Ventures を通じて、全世界で販売されています。

また「ES 繊維」を原料としたエアスルー不織布「EsSoft®」(エスソフト)は、嵩高で、柔らかい風合いが特徴であり、紙おむつや生理用品、フィルター等生活に欠かせない製品に広く用いられています。当社は、中国、タイ、日本の生産拠点から、拡大を続けるアジアの衛生材料市場の旺盛な需要に対応しています。

## ライフケミカル製品 [ライフケミカル事業部]

ライフケミカル製品は、医療・美容・衛生・食品分野など、私たちの身近な生活の場面に活用され、環境にやさしい製品として SDGs に貢献しています。

主な製品はバイオ医薬品等や化粧品等に使用される、セルロース粒子のセルファイン®、セルフロー™。食品保存料として使用されるアミノ酸から構成される天然系食品保存料のポリリジン。微生物検査培地の MC-Media Pad™ など多岐にわたっています。

## 肥料 [ジェイカムアグリ株式会社]

当社の肥料事業は 2009 年に設立したジェイカムアグリ株式会社で行っています。

主な製品には、高度化成肥料・コーティング肥料・コーティング複合肥料があり、その他緩効性肥料の CDU®・IBDU®、園芸用培土（与作™）、水稻用の培土があります。

特にコーティング肥料は樹脂のコーティングにより肥料成分の溶出をコントロールできる高機能、高付加価値の肥料です。コーティング肥料を使用することで施肥回数や施肥量が削減でき、省力化や環境負荷軽減につながります。

また、新たに開発した J コート® は環境に配慮した減プラ品として高い評価をいただいています。

## 樹脂加工品 [JNC 開発株式会社 オージェイケイ株式会社]

プラスチック加工分野における生活・農業・水産用途等の資材製品を生産しています。樹脂袋、海苔簀、PP シート、PET シート、PP フィルム、各種成型品等のプラスチック製品など、より加工性の高い製品を揃えています。

## フィルター [JNC フィルター株式会社]

原料調達からフィルター成形まで一貫して JNC グループ内で完結できる体制を築いており、日本発ならではの安定した信頼性の高い品質と、優れた機能をもつ製品を提供できることが特長です。

JNC フィルターの製品は、化学工業や電子・半導体、自動車、食品、医療、化粧品など、幅広い分野で活用されています。

## 繊維・无纺布 [繊維事業部、ES Indorama Ventures Co., Ltd.]

本公司在世界上首次将以“ES 纤维”而闻名的聚烯烃系热粘合复合纤维成功地推向商业化生产，可以说是聚烯烃系热粘合复合纤维的领航者之一。

目前，“ES 纤维”原棉正通过与 Indrama Ventures 合资建立的 ES Indorama Ventures，在全球范围内拓展业务。

此外，以“ES 纤维”为原料的热风粘合无纺布“EsSoft™”具有蓬松性和手感柔软的特点，被广泛用于生产纸尿裤、生理用品、过滤器等日常生活中不可或缺的产品。我们通过中国、泰国和日本的生产基地，向不断扩大的亚洲卫生材料市场提供能满足客户强烈需求的产品。

## 生命化学产品 [生命化学事业部]

生命化学产品被用于医疗、美容、卫生、食品领域等与我们密切相关的生活场景中，作为对环境友好的产品为 SDGs 做出了贡献。

主要产品涉及众多领域，如用于生物医药产品和化妆品等的纤维素颗粒 Cellufine™ 和 Cellulflow™、用于食品防腐剂的由氨基酸构成的天然食品防腐剂聚赖氨酸、用于微生物测试培养基的 MC-Media Pad™ 等。

## 肥料 [JCAM AGRI. CO., LTD.]

本公司的肥料事业由 2009 年创办的杰康农业 (JCAM AGRI. CO., LTD.) 负责开展。

主要产品有高浓度复合肥料、包膜肥料、包膜复合肥料，此外，还有缓效肥料 CDU™ 和 IBDU™、用于园艺的培土（与作™）及用于水稻种植的培土。

尤其是其中的包膜肥料，是一种具有高功能、高附加值的肥料，它采用了以树脂包裹肥料的方法，能够有效控制肥料成分的释出。

通过使用这种包膜肥料，可以减少施肥次数和施肥量，为省力和减轻环境负荷做贡献。

此外，新开发的 J-Coat™ 作为环保型减塑产品得到了高度好评。

## 樹脂加工品 [JNC 开发株式会社、OJK CORPORATION]

在塑料加工领域，我们生产用于日常生活、农业、水产等的物资。我们提供具有较高加工性的产品，如树脂袋、海苔帘、PP 片材、PET 片材、PP 薄膜、各种成型品等塑料产品等。

## 过滤芯 [JNC FILTER Co., Ltd.]

我们在 JNC 集团内构筑了从原材料采购到过滤芯成型的全套体制，也因此成就了我们的特色，即可以提供结合了源自日本的稳定的高可靠性品质及优异性能的产品。JNC 过滤芯产品广泛用于化工、电子、半导体、汽车、食品、医疗、化妆品等领域。



# ケミカルマテリアル

化学材料

## 化学品 [化学品事業部有機化学品部]

### 溶剤・工業材料

2-エチルヘキサノール、ブタノールに代表されるオキソアルコールは、可塑性をはじめ、塗料・接着剤の合成樹脂の製造に使用されるなど、用途は多岐にわたっており、快適な暮らしづくりに貢献しています。また、酢酸ブチルなどの有機溶剤は自動車用塗料や建材用塗料に用いられ、暮らしのさまざまなシーンに鮮やかな彩りを創り出しています。

### 塗料・接着剤添加剤

CS-12、CS-16は揮発性有機溶剤（VOC）の削減に寄与する水系エマルジョン塗料やエマルジョン系接着剤の造膜助剤として優れた性能を発揮します。また、CS-16は壁紙やフローリングなどのペースト塩化ビニル製品に用いられる可塑性としても使用されています。

### 有機合成原料・香料原料

当社の有機合成原料は、電子材料、機能性樹脂、医薬・農薬などのさまざまな分野で利用されています。また、当社ならではの有機合成技術により、グリーンノートなど多彩な香料原料を開発し、化粧品からトイレタリー製品や芳香剤等のフレグランス、食品・清涼飲料水等のフレーバーにいたるまで、生活の幅広い分野に利用されています。

### ポリビニルホルマール樹脂（ビニレック®）

ビニレック®は、機械的強度の優秀さ・硬化皮膜の再現性、耐水性などの化学的耐性に優れる点から変圧器のコイルなどに使用されるエナメル線用ワニスに世界的に使用されています。その他、自動車、航空機の軽量化に寄与するFRP用プリプレグ、構造物用の特殊接着剤としての用途、特殊塗料用途にも広く使用されています。

FRP用強靱化剤として開発されたビニレック®-Cは構造中にカルボキシル基を有し、熱硬化樹脂（エポキシ樹脂）に混合する事で靱性等の向上が期待されます。

## 合成樹脂ライセンス [化学品事業部ライセンス部]

1906年の創業以来、当社は独自の技術開発や、さまざまな分野における研究開発の歴史を通じて、リーディングポジションを維持してきました。当社は下記の洗練された技術を、世界中にライセンスしています。

- ・ポリ塩化ビニルプロセス
- ・脱モノマープロセス

石油化学製品は、私たちの身近なところで  
快適な暮らしづくりに貢献しています。

石油化学製品の  
技術ライセンスも行っています。

我们的石油化学产品，就在大家身边，  
为营造舒适的生活环境做出贡献。

并进行有关石油化学产品的技术授权。

## 化学品 [化学品事業部有機化学品部]

### 溶剤・工業材料

以2-乙基乙醇和丁醇为代表的羰基合成醇用途多种多样，可以用来生产可塑性、涂料、粘合剂的合成树脂等，为创造舒适的生活做贡献。此外，乙酸丁酯等有机溶剂被用于汽车涂料和建材涂料，为日常生活增添鲜艳的色彩。

### 塗料・黏合剤添加剤

CS-12和CS-16将作为有助于减少挥发性有机溶剂（VOC）的水性乳化涂料和乳胶粘合剂的成膜助剂，发挥出卓越的性能。此外，CS-16还被用作可塑性，用于墙纸和地板等的糊状氯乙烯产品。

### 有機合成原料・香料原料

本公司的有机合成原料被用于电子材料、功能树脂、医药和农药等领域。此外，运用本公司特有的有机合成技术研制出的绿香调等丰富多彩的香料原料，被应用于日常生活的广泛领域，如从化妆品到洗护用品和芳香剂等产品的香料、食品和清凉饮料等产品的香精。

### 聚乙烯醇缩甲醛树脂（VINYLEC®）

VINYLEC®具有机械强度出色、固化皮膜的再现性好、耐水性等耐化学品性突出的特点，因此在世界范围内被用于变压器线圈等漆包线漆。此外，VINYLEC®的用途十分广泛，不仅被用作有助于减轻汽车和飞机重量的FRP预浸料，以及结构物的特殊粘合剂，还被用于特殊涂料。

作为FRP增韧剂开发出来的VINYLEC®-C，其结构中含羧基，与热固性树脂（环氧树脂）混合后，有望提高韧性。

## 合成树脂技术授权 [化学品事業部授權部]

自1906年创业以来，本公司凭借具有自身特色技术开发和面向多领域的研发业绩，一直保持着相对优势地位。本公司针对下列的精湛技术，面向世界各地进行技术授权。

- ・聚氯乙烯的生产工艺
- ・氯乙烯单体的脱除工艺



## 研究開発

### 日本の化学産業のバイオニア

#### 研究与开发

日本化学产业的领航者



### これまで、これからも

「電気化学の父」とも称される創業者の野口遵は、常に時代の流れを読み、1923年に世界で初めてカザレー法による合成アンモニアの製造に成功、1941年には塩化ビニル樹脂の製造を開始するなどニーズに即応した技術や製品を世の中に送り出してきました。

私たちは、そのバイオニア精神の遺伝子を受け継ぎ、戦後、オクタノールやDOP、高度化成肥料、超高純度金属シリコンを日本で初めて生産するなど常に日本の化学産業をリードしてきました。

そして現在はこれからますます多様化・高度化する社会のニーズに対応するため、「Society5.0を実現する機能性材料」、「グリーン環境、カーボンニュートラルに寄与する環境、エネルギー関連材料」、「生活を豊かにするライフケミカル関連材料」における研究開発に注力しています。

私たちは常に、社会貢献意識を高く持ち、夢の実現に向け、研究開発を推進してまいります。

#### 至今为止，从今以后

具有“电气化学之父”之称的创业者野口遵，随时把握时代潮流，不断将顺应客户需求的新技术和新产品推向全球市场，例如，于1923年在世界上首次成功地采用卡萨勒法制造了合成氨，而于1941年开始了氯乙烯树脂的制造。

我们继承他的开拓精神，在日本最先开始生产辛醇、DOP、高浓度复合肥料、高纯度金属硅等产品，并致力于引领日本的化学产业。

目前，为了回应日趋多样化、高功能化和高性能化的社会需求，我们致力于“实现高度信息社会的功能性材料”、“为绿色环境和碳中和做贡献的环境与能源相关材料”、“让生活丰富多彩的生命化学相关材料”的研究与开发。

我们一直秉持着要为社会做贡献的高度责任意识，为实现我们的梦想，努力促进有关新技术和新产品的研究与开发。

## カーボンニュートラル

### カーボンニュートラルの達成に向けて

#### 碳中和

如何实现碳中和

### JNCカーボンニュートラル宣言

JNCグループでは、2050年カーボンニュートラルに向け、サプライチェーンを含めた取り組みとして「JNCカーボンニュートラル宣言」を決定し、目標達成を目指しています。

- ・2050年 GHG 排出量ネットゼロを目標に全社を挙げて取り組む。
- ・マイルストーンとして、2030年の Scope1および Scope2の GHG 排出量38%削減を目指す（対2013年度比）。
- ・Scope3に関わる排出量の削減のため、上下流のサプライチェーンと協働して取り組む。

#### JNC 碳中和宣言

JNC 集团已确定“JNC 碳中和宣言”，作为包括供应链在内的措施，力争实现2050年碳中和目标。

- ・全公司致力于2050年 GHG 净零排放的目标
- ・作为里程碑，目标是2030年 Scope1和 Scope2的 GHG 减排38%（与2013年度相比）
- ・与上下游供应链共同努力，以实现 Scope3的减排

## サステナビリティ

### 経営戦略に融合したサステナビリティで社会との共存を

#### 可持续发展

通过融入经营战略的可持续发展  
谋求与社会的共存

### JNC グループ サステナビリティ基本方針

#### 明日につながる素材をつくり、化学の力で未来を守る

私たち JNC グループは、技術、製品、サービスを通じて、サステナブルな未来の実現に向けて明日につながる、よるごびを提供します。

#### 環境に配慮した事業活動（環境）

・省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用、各種廃棄物の削減、環境負荷低減、カーボンニュートラルへの取り組みなどを通じて、環境保護に貢献する事業活動を行うとともに、生物多様性の保全にも取り組みます。

#### 社会との調和（社会）

・地域貢献活動に積極的に取り組み、地域社会の一員としての役割を果たします。  
・全ての人々の人権を尊重し、多様性に配慮した事業活動の推進と、働きがいのある職場環境を構築します。

#### 持続可能な経済活動（経済）

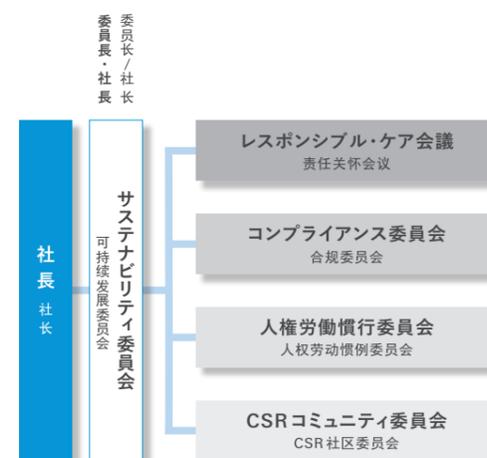
・お客様とともにサステナブルな社会の実現を目指し、長期的視野で事業活動を推進します。  
・お客様に満足していただける安全・安心な技術、製品、サービスを提供し続けます。

#### 安全の維持（安全）

・社員一人ひとりが高い安全意識を持ち、「安全常に」をモットーとし、安全・安定操業と保安防災に努めます。

#### 公正な事業慣行（コンプライアンス・ガバナンス）

・法令および規則を遵守し、企業倫理意識の徹底により公正な事業活動を行います。  
・組織内管理体制の強化を図り、健全な企業経営を推進します。



### SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み

JNCグループでは「JNCは、SDGsを世界共通の目標と認識し、企業活動を通じて、その達成に貢献していく」と取り組み方針を決定し、取り組みを実施しています。

#### 为实现 SDGs(可持续发展目标)所采取的举措

JNC 集团制定了“JNC 将 SDGs 视为世界共同的目标，通过企业活动为达到这一目标做出贡献”的行动方针，并采取了一系列举措。

### JNC 集团 可持续性基本方针

#### 以所造之材连通明日，以化学之力守护未来

JNC 集团将凭借技术、产品和服务，为实现可持续发展的未来，创造连通明日的喜悦。

#### 有益环保的业务活动（环境）

・致力于节约能源、利用可再生能源、减少各种废弃物、减轻环境负荷、达成碳中和等活动，基于此，在进行有益环保的业务活动的同时，大力保护生物多样性。

#### 与社会和谐相融（社会）

・积极参加地区公益活动，作为社区的一员发挥作用。  
・尊重所有人的人权，推进包容多样性的业务活动，构建体现工作价值的职场环境。

#### 可持续的经济活动（经济）

・与客户一起，以实现可持续发展的社会为目标，以长远的视野推进业务活动。  
・持续提供能让客户满意的安全、安心的技术、产品和服务。

#### 保持安全（安全）

・全员秉持高度安全意识，以“时刻安全”为宗旨，努力做到安全稳妥作业、平安有序防灾。

#### 正当的业务行为（合规和管理）

・遵守法令和规则，贯彻企业伦理意识，进行正当的业务活动。  
・力图强化组织内部管理体制，推进健全的企业经营。

### サステナビリティ推進体制

サステナビリティ推進の中核となる「レスポンシブル・ケア会議(RC会議)」、「コンプライアンス委員会」、「人権労働慣行委員会」、「CSRコミュニティ委員会」では、各々の活動の推進に責任を持ち、方針・目標を決定、進捗状況の確認や各種事項の審議・決定を行い、その内容をサステナビリティ委員会に報告します。

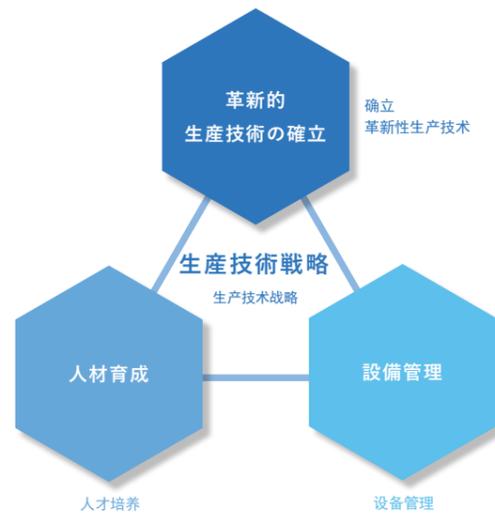
#### 可持续发展推进体制

作为可持续发展推进工作的核心，“责任关怀会议(RC会议)”、“合规委员会”、“人权劳动惯例委员会”、“CSR社区委员会”负责促进各项活动的开展，确定方针和目标，确认进展情况，对各类事项展开审议、作出决定，并向可持续发展委员会汇报其内容。

## 生産技術

革新的生産技術の確立をめざして

生产技术  
以确立革新性生产技术为目标



## 生産技術力の強化

生産技術戦略として、【独自技術の構築】および【既存プロセス改善による生産性向上】を図るべく、「Σ(SiGMA)活動」※1を全社で取り組み、生産技術力の強化を図っています。

これには二つの目的があります。一つ目は新規事業創出のための新技術開発、二つ目は新技術導入による設備競争力向上です。現在の技術・技能に満足せず、お客様の要求事項にマッチした技術・技能へ磨き上げる事により、競争力のある生産体制の確立を推進しています。

※1 :Σ(SiGMA)活動:Sustainable Innovation for Global Manufacturing Advantage

### 強化生产技术能力

生产技术战略方面，为【构建独创技术】和【通过改善现有工艺提高生产率】，全公司正致力于“Σ(SiGMA)活动”※1，力求强化生产技术能力。

其中有两个目标。其一，开发创造新事业的新技术；其二，通过引进新技术来提高设备竞争力。我们不满足于当前的技术和技能，而是要实现满足客户要求事项的技术和技能，藉此来帮助建立一个具有竞争力的生产体制。

※1 :Σ(SiGMA)活动:Sustainable Innovation for Global Manufacturing Advantage

## 生産技術者育成と技術の伝承

ものづくりの基本教育から環境・安全・品質に関する教育、化学工学教育、エンジニアリング研修等、生産技術者の育成と技術の伝承を目的に全社教育プログラムを進めています。

また、データ解析技術による課題解決力の向上を目標に、品質工学教育を通じた現場課題解決への取り組み、社員のデータハンドリングスキル向上を推進しています。

### 生产技术人员的培养与技术传承

我们以生产技术人员的培养和技术传承为目的开展着全公司教育计划，包括生产活动的基本教育、有关环境/安全/品质的教育、化学工学教育、工程学培训等。

此外，以运用数据解析技术提升问题解决能力为目标，推进通过品质工学教育解决现场问题的举措并推动员工的数据处理水平的提升。

## 設備管理

設備の安全・安定運転は、環境保全・労働安全衛生・品質保証に繋がります。そのため設備に起因するロス・リスクを低減し、トラブルを防止する設備管理は極めて重要です。定期的に検査や整備をする予防保全、異常な兆候を察知する予知保全、トラブルが起きた際の対処かつ再発防止の事後保全にIoTやAIなどの新たな技術を導入しながら業務の高度化を進めています。

保全技術の向上を図りながら設備保全管理システムを活用し、より信頼性の高い設備を実現しています。

### 设备管理

设备的安全稳定运行与环境保护、劳动安全卫生及品质保证息息相关。因此，降低设备引起的损失和风险并防止故障的设备管理极其重要。我们在进行定期检查和维修的预防保养、发现异常征兆的预知保养、发生故障时的处理及防止再次发生的事后保养中引进IoT、AI等新技术的同时，不断推进业务的先进化。

我们在努力提高保养技术的同时有效利用设备保养管理系统，实现了可靠性更高的设备。



## RC活動

「安全常に」をモットーに  
RC活動を推進

### RC活动

以“随时保证安全”为宗旨  
推进RC活动扎实开展



## 基本理念

当社は、常に社会のニーズに応え、且つその発展に寄与すべく、次の基本認識の上において事業活動を推進する。

1. 地球環境の保全は、人類の幸福のための条件である。
2. 安全は、会社の存続と社会貢献の基盤である。
3. 安全な製品の供給は、企業の社会的責任である。
4. 社会からの理解と信頼を得るには、率直な対話が不可欠である。

### 基本理念

为了随时回应社会的需求，促进社会发展，本公司基于以下基本认识，开展各项事业活动。

1. 保护地球环境是实现人类幸福的前提条件。
2. 安全是公司的存续及社会贡献的基础。
3. 提供安全产品是企业的社会责任。
4. 要得到社会的理解和信赖，就必须与社会进行坦率的对话。

## レスポンスブル・ケア方針

レスポンスブル・ケア(RC)とは「化学品を取り扱う企業が、化学品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るすべての過程において、環境・健康・安全を確保し、その成果を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行う自主活動」です。

### 责任关怀方针

所谓责任关怀(RC)是指“经营化学品的企业在从化学品的开发到制造、物流、使用、经最终消费后被废弃的整个过程中，确保环境、健康和安，并公布其成果，与社会进行对话和交流的自主性活动”。

## PDCAサイクル

JNCグループではRC活動推進のため、社長を議長とする「RC会議」を開催し、RC活動計画の審議や承認を行うほか、PDCAサイクルの進捗を確認しています。

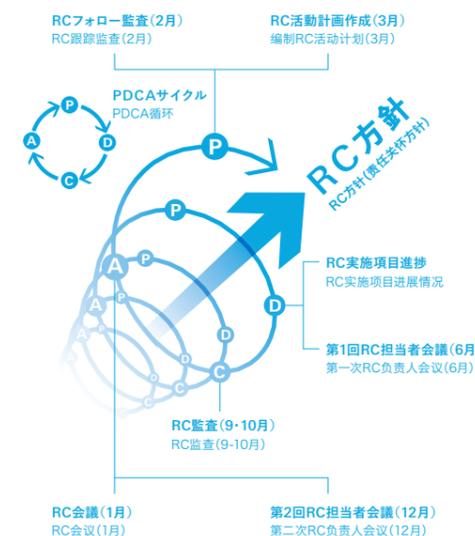
また、RC会議の下部組織として各事業場担当者による「RC担当者会議」を設置しています。

RC活動のPDCAサイクルを確実にし、その実行を客観的に評価するため、環境安全品質担当役員をリーダーとするRC監査を毎年実施しています。

### PDCA循環

为了推进RC活动，JNC集团不仅召开由社长担任议长的“RC会议”，审议并批准RC活动计划，还确认PDCA循环的进展情况。

此外，作为RC会议的下级组织，还设置了由各事业场所经办人构成的“RC负责人会议”。我们将PDCA管理切实用于RC工作，为了客观评价其执行状况，每年由负责环境安全品质的董事牵头针对RC开展监察工作。

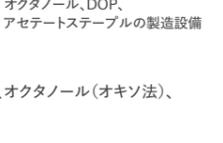
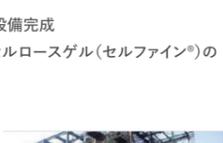


# 会社概要

公司概要

商号	JNC株式会社
創業	1906年1月12日
設立	2011年1月12日
資本金	311億5,000万円
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 浅野 進 (あさの すずむ)
持株会社	チッソ株式会社

## 沿革

明治39年	曾水電気株式会社設立	
明治41年	日本窒素肥料株式会社に改称、水俣工場で空中窒素固定法による石灰窒素の製造開始	
大正12年	世界で初めてカザレー式合成アンモニアの製造開始	
昭和2年	朝鮮窒素肥料株式会社設立、世界最大規模の化学コンビナート興南工場設立	
昭和16年	塩化ビニルの製造開始	
昭和25年	新日本窒素肥料株式会社として新たなスタート	
昭和27~28年	オクタノール、DOP、アセテートステープルの製造設備完成	
昭和30年	高度化成肥料の製造設備完成	
昭和34年	高純度金属シリコンの製造設備完成	
昭和37年	チッソ石油化学株式会社設立 (現JNC石油化学株式会社)	
昭和38年	チッソポリプロピレン株式会社 (現JNCファイバース株式会社) 設立	
昭和40年	ポリプロピレンおよびポリプロピレン繊維の製造設備完成	
昭和44年	チッソ株式会社に改称	
昭和48年	高密度ポリエチレンの製造設備完成、オクタノール (オキソ法)、DOPの製造設備完成	
昭和49年	液晶の製造設備完成	
昭和56年	熱接着性複合繊維 (ES繊維) の製造設備完成	
昭和62年	肥効調節型肥料 (LPコート®)、球状セルロースゲル (セルファイン®) の製造設備完成	
平成6年	気相法ポリプロピレン製造設備完成	
平成9年	広州ES繊維有限責任会社設立 (現広州ES繊維有限公司)	
平成11年	五井リクソンセンター (液晶ブレンド工場) 完成	
平成15年	台湾智索有限公司設立 (現台湾捷恩智股份有限公司)	
平成16年	日本ポリプロ株式会社 (ポリプロピレン事業統合会社) 設立	
平成18年	智索国際貿易 (上海) 有限公司設立 (現捷恩智 (上海) 企業管理有限公司)	
平成21年	チッソ韓国株式会社設立 (現韓国JNC株式会社)	
平成22年	創設100周年	
平成23年	ESファイバービジョンズ株式会社設立 (現ES Indorama Ventures株式会社)	
平成26年	ジェイカムアグリ株式会社設立	
平成29年	智索無紡材料 (常熟) 有限公司設立 (現捷恩智無紡材料 (常熟) 有限公司)	
令和2年	JNC株式会社設立	
令和3年	JNC NONWOVENS (THAILAND) CO.,LTD. 設立	
令和6年	捷恩智液晶材料 (蘇州) 有限公司設立	
令和6年	台湾ディスプレイ技術センター設置	
令和6年	マスク用不織布およびマスク生産開始	
令和6年	JNC株式会社設立10周年	
令和6年	九州地区13か所の水力発電所リニューアル工事完了	
令和6年		

Name	JNC CORPORATION
Founded	January 12, 1906
Established	January 12, 2011
Paid-in capital	31.15 billion yen
Representative	Susumu Asano (CEO & President)
Holding Company	CHISSO CORPORATION

## 发展历程

1906	曾水電気株式会社成立
1908	更名为日本窒素肥料株式会社、在水俣工場採用大気窒素固定法開始製造石灰氮
1923	在世界上最先採用卡薩勒法開始製造合成氨
1927	朝鮮窒素肥料株式会社成立、設立世界最大規模の化工聯合企業“興南工場”
1941	開始製造氯乙烯
1950	以新日本窒素肥料株式会社为名、開始了新篇章
1952~1953	辛醇、DOP、醋酸短纤の生産設備安裝完成
1955	高濃度複合肥料の生産設備安裝完成
1959	高純度金屬矽の生産設備安裝完成
1962	CHISSO PETROCHEMICAL CORPORATION 成立 (現在のJNC石油化学株式会社)
1963	CHISSO POLYPRO FIBER CO.,LTD. 成立 (現在のJNC FIBERS CORPORATION)
1965	聚丙烯和聚丙烯纖維の生産設備安裝完成
1969	更名为CHISSO CORPORATION
1973	高密度聚乙烯の生産設備安裝完成、辛醇 (羰基合成法) 和DOPの生産設備安裝完成
1974	液晶の生産設備安裝完成
1977	熱粘複合纖維 (ES纖維) の生産設備安裝完成
1981	肥効調節型肥料 (MEISTER) 和球状纖維素凝膠 (Cellufine™) の生産設備安裝完成
1987	氣相法聚丙烯の生産設備安裝完成
1994	廣州芝愛絲纖維有限責任公司成立 (現在の廣州芝愛絲纖維有限公司)
1997	Goi LIXON Center (液晶共混工場) 完工
1999	台灣智索有限公司成立 (現在の台灣捷恩智股份有限公司)
2003	JAPAN POLYPROPYLENE CORPORATION (將聚丙烯業務一體化的公司) 成立
2004	智索國際貿易 (上海) 有限公司成立 (現在の捷恩智 (上海) 企業管理有限公司)
2006	CHISSO KOREA CO.,LTD. 成立 (現在の韓國JNC株式会社)
2009	創建100周年
2010	ES FIBERVISIONS CO.,LTD. 成立 (現在のES INDRAMAMA VENTURES CO.,LTD.)
2011	JCAM AGRI. CO.,LTD. 成立
2014	智索無紡材料 (常熟) 有限公司成立 (現在の捷恩智無紡材料 (常熟) 有限公司)
2017	JNC株式会社成立
2020	JNC Nonwovens (Thailand) CO.,LTD. 成立
2021	捷恩智液晶材料 (蘇州) 有限公司成立
2022	在台灣設立JNC顯示技術中心
2023	開始生產口罩用無紡布以及口罩
2024	JNC株式会社成立10周年
2024	九州地區13地點的水力發電站翻新改造工程施工竣工

# 事業拠点 国内

事業基地 日本国内

01	本社 〒100-8105 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル TEL. 03-3243-6760(代) FAX. 03-3243-6960	Head Office Shin Otemachi Bldg, 2-2-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8105 PHONE. +81-3-3243-6760 FAX. +81-3-3243-6960
02	大阪事務所 〒530-6108 大阪府大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル TEL. 06-6441-3253(代) FAX. 06-6441-3279	Osaka Office NAKANOSHIMA DAIBIRU, 3-3-23 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-6108 PHONE. +81-6-6441-3253 FAX. +81-6-6441-3279
03	横浜研究所 〒236-8605 神奈川県横浜市金沢区大川5-1 TEL. 045-786-5501(代) FAX. 045-786-5511	Yokohama R&D Center 5-1, Okawa, Kanazawa-ku, Yokohama, Kanagawa 236-8605 PHONE. +81-45-786-5501 FAX. +81-45-786-5511
04	水俣製造所 イノベーションセンター 〒867-8501 熊本県水俣市野口町1-1 TEL. 0966-63-2116(代) FAX. 0966-62-1230	Minamata Factory Innovation Center 1-1, Noguchi-cho, Minamata, Kumamoto 867-8501 PHONE. +81-966-63-2116 FAX. +81-966-62-1230
05	JNC石油化学(株) 市原製造所 液晶技術開発研究所 電子材料開発研究所 未来技術研究所 〒290-8551 千葉県市原市五井海岸5-1 TEL. 0436-21-5111(代) FAX. 0436-23-1143	JNC PETROCHEMICAL CORPORATION Ichihara Factory Liquid Crystals Technology Development Center Electronic Materials Development Center Future Technology Research Center 5-1, Goikaigan, Ichihara, Chiba 290-8551 PHONE. +81-436-21-5111 FAX. +81-436-23-1143
06	JNCファイバース(株) 守山工場 守山研究所 〒524-0001 滋賀県守山市川田町230 TEL. 077-582-3575(代) FAX. 077-583-5876	JNC FIBERS CORPORATION Moriyama Plant Moriyama R&D Center 230, Kawata-cho, Moriyama, Shiga 524-0001 PHONE. +81-77-582-3575 FAX. +81-77-583-5876
07	九州化学工業(株) 戸畑工場 JNCマテリアル(株) 戸畑工場 〒804-0002 福岡県北九州市戸畑区大字中原字先ノ浜46-94 TEL. 093-882-2122(代) FAX. 093-882-2127	KYUSHU CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD. Tobata Plant JNC MATERIAL CO.,LTD. Tobata Plant 46-94, Sakinohama, Nakabaru, Tobata-ku, Kitakyushu, Fukuoka 804-0002 PHONE. +81-93-882-2122 FAX. +81-93-882-2127

## グループ会社紹介 集团公司简介

### JNC石油化学株式会社 JNC PETROCHEMICAL CORPORATION

市原製造所	Ichihara Factory
化学製品の製造	化学产品的制造

### JNCファイバース株式会社 JNC FIBERS CORPORATION

守山工場	Moriyama Plant
ポリプロピレン繊維、複合繊維、不織布の製造	聚丙烯纤维、复合纤维、无纺布的制造

### 九州化学工業株式会社 KYUSHU CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

戸畑工場	Tobata Plant
化学肥料、その他化学製品の製造	化学肥料、其他化学产品的制造

### JNCマテリアル株式会社 JNC MATERIAL CO.,LTD.

戸畑工場	Tobata Plant
電子情報材料の製造	电子信息材料的制造

### 日本ポリプロ株式会社 JAPAN POLYPROPYLENE CORPORATION

ポリプロピレン樹脂の製造、販売、研究・開発	聚丙烯树脂的制造、销售、研究与开发
-----------------------	-------------------

### 京葉ポリエチレン株式会社 KEIYO POLYETHYLENE CO.,LTD.

高密度ポリエチレン樹脂の販売	高密度聚乙烯树脂的销售
----------------	-------------

### シージーエスター株式会社 CG ESTER CORPORATION

可塑剤の製造、販売	增塑剂的制造、销售
-----------	-----------

### ES Indorama Ventures株式会社

化学繊維の販売	化学纤维的销售
---------	---------

### JNCフィルター株式会社 JNC FILTER CO.,LTD.

濾過材の製造・販売、濾過機	过滤材料的制造与销售，过滤器的设计与施工
---------------	----------------------

### JNC開発株式会社 JNC KAIHATSU CO.,LTD.

樹脂袋、PPシート、海苔糞、発泡成型品などのプラスチック製品の製造	树脂袋、PP片材、海苔糞（制干海苔的用具）、发泡成型品等塑料制品的制造
-----------------------------------	-------------------------------------

### オージェイケイ株式会社 OJK CORPORATION

樹脂包装資材の製造、販売	树脂包装材料的制造、销售
--------------	--------------

### ジェイカムアグリ株式会社 JCAM AGRI. CO.,LTD.

肥料および床土資材の製造、販売	肥料和土壤床材料的制造、销售
-----------------	----------------

### 日祥株式会社

### NISSHO CORPORATION

電子材料、合成樹脂、加工品などの化学製品、洗浄剤、生分解性樹脂、食品添加剤、住宅・建築用資材及び緑化資材等の売買	化学产品（电子材料、合成树脂和加工品等）、清洗剂、生物降解树脂、食品添加剂、住宅和建筑用材料以及绿化材料的买卖
--	---

### 千葉ファインケミカル株式会社 CHIBA FINE CHEMICAL CO.,LTD.

アタックポリプロピレン、特殊洗浄剤の販売、公害防止機器の販売、化学品などに関する調査・委託研究および化学製品の販売	无规聚丙烯、特殊清洗剂的销售；公害防止器具的销售；有关化学品等的调查和委托研究及产品的销售
---	---

### JNCエンジニアリング株式会社 JNC ENGINEERING CO.,LTD.

化学、医薬、環境関連プラントの設計・施工およびメンテナンス、発電設備、物流システムの設計・施工	化学、医药、环境相关成套设备的设计、施工及维修；发电设备、物流系统的设计与施工
---	---

### サンワ工事株式会社 SANWA CONSTRUCTION CO.,LTD.

プラント建設、メンテナンス、保全、検査	工厂建设、维修、保养、检查
---------------------	---------------

### JNCセントラル株式会社 JNC CENTRAL CO.,LTD.

プラントメンテナンス、配管工事・電気計装工事の設計施工	工厂维修、管道和电子仪器设备配置的设计与施工
-----------------------------	------------------------

### 株式会社アール・ピー・エス RECYCLE BUSINESS SERVICE CO.,LTD.

一般廃棄物処理や産業廃棄物処理、肥料および土壌改良資材の製造、販売	一般废弃物处理和产业废弃物处理；肥料和土壤改良材料的制造、销售
-----------------------------------	---------------------------------

### 新興製機株式会社

### SHINKO MACHINERY CO.,LTD.

水処理用チェーン、コンベアーチェーンなどの製造、販売	水処理用输送链、输送链等的制造、销售
----------------------------	--------------------

### テクノインテリジェンスサービス株式会社

TECHNO INTELLIGENCE SERVICES CO.,LTD.	
人材派遣および事務サービス	人才派遣和办公服务等

### 熊本オキシトン株式会社 KUMAMOTO OXYTON CO.,LTD.

圧縮および液化ガス、水素ガスなどの製造、販売	压缩气体和液化气体、氢气等的制造、销售
------------------------	---------------------

### 五井コストエナジー株式会社 GOI COAST ENERGY CO.,LTD.

天然ガス発電による電力供給および蒸気による熱供給	来自天然气发电的电力供应，来自天然气蒸汽的供热
--------------------------	-------------------------

### SK JNC Japan 株式会社 SK JNC JAPAN CO.,LTD.

有機EL材料の研究・開発	有机EL材料的研究与开发
--------------	--------------

## 事業拠点 海外 事业基地 海外



## JNC株式会社

〒100-8105  
東京都千代田区大手町2丁目2番1号  
新大手町ビル9階  
TEL: 03-3243-6760  
FAX: 03-3243-6960

## JNC CORPORATION

Shin Otemachi Bldg, 2-2-1 Otemachi,  
Chiyoda-ku, Tokyo 100-8105 Japan  
Phone: +81-3-3243-6760  
Fax: +81-3-3243-6960



<https://www.jnc-corp.co.jp/>

この冊子に記載された会社名および一部の商品名は、JNC株式会社および関係各社の、日本およびその他の国における商号、商標または登録商標です。

無断転載を禁止します。

All company names and certain product names mentioned in this brochure are trade names, trademarks, or registered trademarks of JNC CORPORATION and affiliated companies in Japan and/or other countries. All rights reserved.



この印刷物から発生するCO<sub>2</sub>はカーボンフリーコンサルティング㈱を通じてオフセットされています。